

ベトナム国際銀行(VIB)



《企業紹介》

同社はハノイを本拠とする大手商業銀行のひとつで、オーストラリアのコモンウェルス銀行が筆頭株主となっている（保有比率 20%）。同社の特徴は個人向け金融サービスを中核事業としている点だ。金利収入の中核は個人向けの自動車ローン、住宅関連ローン、ビジネスローンであり、2023 年 3 月末の貸出残高の 89%を個人向け融資が占めている。また、個人向け融資のうち 92%は担保付であり、貸出債権の保全も図っている。

手数料収入は個人向けクレジットカードサービス、プルデンシャルと提携した保険等の金融商品販売が中核となっている。デジタルバンキングサービスの開発にも積極的に取り組み、個人向け金融サービスの差別化と顧客の囲い込みを進めている。

《2023 年 7-9 月期業績》

2023 年 7-9 月期の営業収入(対応費用を差し引いた純額、以下収入は全て純額)は前年同期比 30.2%増の 6.0 兆 VND(ベトナムドン)だった。金利収入は貸出債権残高が同 8.3%増の 241.8 兆 VND に増加したこと、利ザヤが改善したことにより、同 12.7%増の 4.3 兆 VND となった。手数料収入はカード決済や保険販売手数料以外の金融関連サービスが好調だったため同 33.5%増の 1.0 兆 VND となっている。その他収入は、為替売買損益が前年同期の 551 億 VND の赤字から 3,221 億 VND の黒字へ転換したこと、投資有価証券売買損益が 658 億 VND の赤字から 1,134 億 VND の黒字に転換したことにより 6,410 億 VND となった。

税前利益は同 3.9%減の 2.6 兆 VND、税引後利益は同 3.9%減の 2.1 兆 VND となった。営業費用が同 2.8%増の 1.7 兆 VND と、営業収入の増加ペースを大きく下回る水準に抑制されたが、貸倒関連費用が同 9.8 倍の 1.6 兆 VND に拡大したため減益となった。貸倒関連費用の大幅な増加は、景気の減速によって個人の間所得層の信用力低下によるものと考えられる。貸倒比率は同 2.4%ポイント上昇して 2.7%に達している。これは 2022 年 4-6 月期以降、最高水準となっている。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2022年7-9月期		2022年10-12月期		2023年1-3月期		2023年4-6月期		2023年7-9月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	4,626.5	50.2	4,686.6	4.1	4,929.6	19.2	5,354.1	16.2	6,024.5	30.2
(うち金利収入)	3,836.0	43.2	3,911.0	15.0	4,304.1	22.4	4,401.9	19.0	4,321.3	12.7
(うち手数料等収入)	795.5	92.1	839.8	-12.0	618.4	-4.5	786.1	-13.2	1,062.2	33.5
(その他収入)	-5.0	-	-64.3	-	7.1	-	166.2	-	641.0	-
営業費用	1,669.8	16.8	1,566.2	36.6	1,567.5	7.4	1,555.7	3.6	1,716.9	2.8
貸倒関連費用	165.6	-38.0	353.3	-48.3	668.2	68.2	860.2	136.7	1,624.8	880.9
税前利益	2,791.1	101.5	2,767.0	3.5	2,683.9	17.8	2,948.0	7.4	2,682.8	-3.9
税引後利益(株主帰属分)	2,233.4	101.6	2,216.9	3.7	2,155.1	18.2	2,358.4	7.4	2,146.9	-3.9
貸出債権残高	223,283.6	20.2	228,879.2	14.9	226,004.4	6.9	231,347.0	5.7	241,890.7	8.3
貸倒比率(年換算、%、ポイント)	0.3	-0.3	0.6	-0.8	1.2	0.4	1.5	0.8	2.7	2.4

注1 収入は全て対応費用を差し引いた純額

注2 貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4(年換算)で計算(%)

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より 180 日

News20231113

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ベトナム国際銀行(VIB)



《株価の推移》

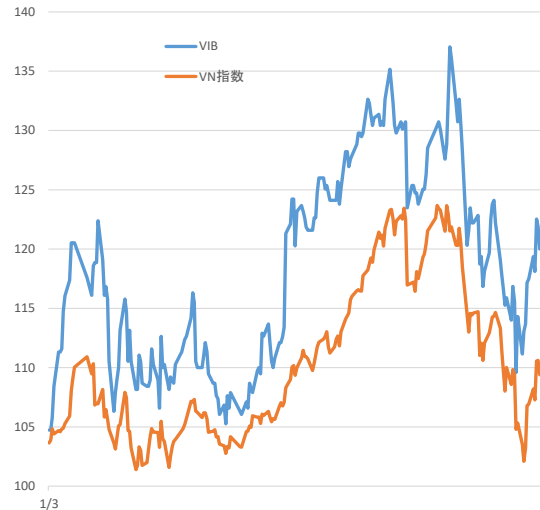
同社の株価とVN指数の2022年終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価は2022年の年初から一貫してVN指数をアウトパフォームしている。11月10日終値時点でVN指数が2022年末比9%の上昇となっているのに対し、同社の株価は20%の上昇となっている。11月10日終値19,000VNDで計算した時価総額は48.1兆VNDで、これは2022年12月期実績の親会社株主帰属の税引後利益8.4兆VNDに対して5.7倍の水準となっている。

2023年の1-3月期からベトナム中央銀行は政策金利の引き下げを行い、6月までには政策金利を過去最低の水準にまで下げている。積極的な金融緩和によって個人の利払い負担が和らぎ、貸出債権の増加や信用コスト低減が期待できることが同社の株価パフォーマンスに貢献

したとみられる。また、中長期的には、所得水準向上により、ベトナムの自動車や住宅の潜在需要は大きく、同社の自動車ローンや住宅ローン市場における強みを考慮すると、同社の成長ポテンシャルが大きいと推測できることも株価パフォーマンスのプラス要因になっていると考えられる。

しかし、政府や中央銀行のサポートがあるにもかかわらず、ベトナムの経済状況に改善の兆しはみられない。逆に10月以降は個人消費や企業マインドに再び軟化の兆しがみられている。景気回復が遅れれば、貸出債権残高の伸び悩み、利ザヤの縮小、貸倒引当金の増加が同社の業績のマイナス要因になる可能性がある点には注意が必要だろう。

図表2 株価推移



出所 Investing.comのデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20231113

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。